

1t 強化段ボール製貯水槽 組立マニュアル

川口市水道局

1 特長

- 本品は、組み立て式の 1t (1,000 リットル) の貯水タンクです。
- 強化ダンボールを用いることで、従来の 1t 貯水タンクに比べ、大幅な軽量化を実現し、かつ組み立て式を実現しました。組み立ては容易に行え、かつ保存場所を取りません。
- 化学的に安定しているポリエチレン製の内袋を使用しており、また袋の内側（水に接する部分）は空気に触れていませんので、長期の保存に対して非常に衛生的です。また袋は密閉されていますので、飲料水を注入した際、塩素が減少しにくく、雑菌が繁殖しにくくなっております。
- ビニルカバーをかけることにより、屋外設置も可能です。
(実証実験では屋外設置で 1 か月以上持ちました。)



このマークについて

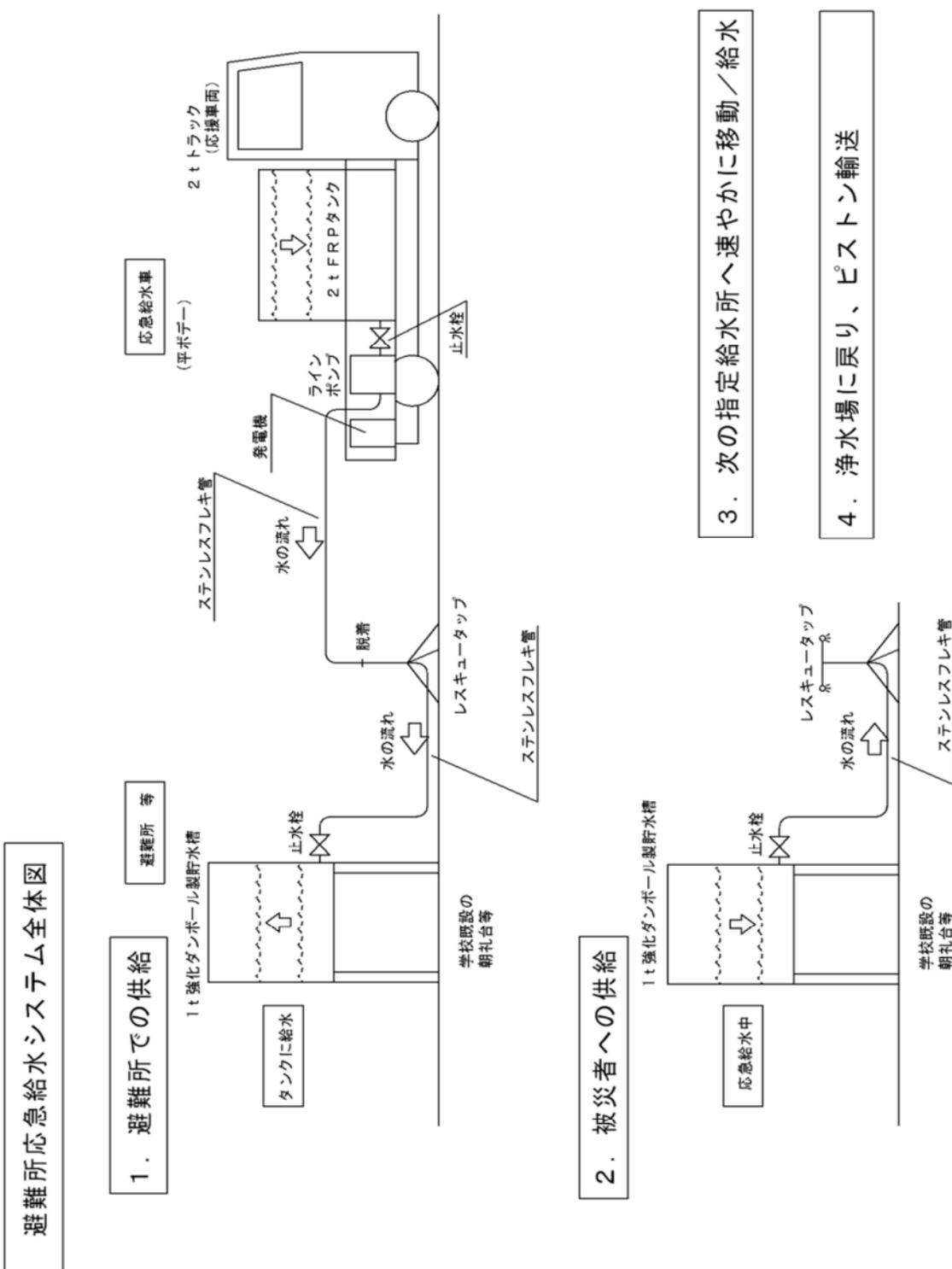
組み立てる際、特にご注意頂きたい箇所に表示しております。



この貯水槽を満水の状態にすると、タンクの内側から外側に向けて 1t (1,000kg) のチカラがかかります。強化ダンボールはこのチカラに対して十分な強度を持っていますが、組立を誤りますと強度が低下し危険です。

組み立ての際は、この組立マニュアルを最後までお読み頂き、手順、注意点について理解してから着手して下さい。

- 1t強化ダンボール製貯水槽は、下図のとおり、応急給水システムの根幹を成す重要な役割を担います。



2 入っているもの



①天板用ダンボール 1枚



②プラスチックボード 1枚
雨水の重みからタンクを守ります。



③底板用ダンボール 1枚
バルブ取付用のV字型の切り込みが入っています。



④貯水タンク本体 1式
強化ダンボール製（3層構造）



⑤内袋 1式
ポリエチレン製
青い部分がバルブ取付口です。
取付口にはフタが付いています。



衛生保持のため、フタは⑥バルブを取り付ける直前まで外さないでください。



⑥バルブ 1個



⑦シリコンパッキン 1枚
⑤内袋 と、⑥バルブ との間に入れます。
接合部からの漏水を防ぎます。



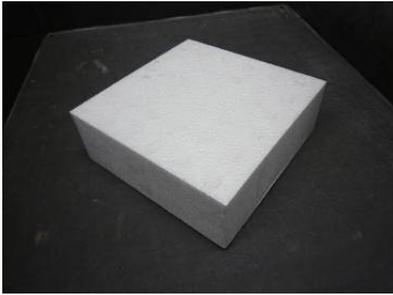
⑧ステンレスクランプ 1個
⑤内袋 と、⑥バルブ とを接合します。
⑦シリコンパッキンの上から掛けます。



⑨ビニルカバー 1枚
タンクを、雨水から守ります。



⑩バンド 2本
⑨ビニルカバーが、風で飛ぶのを防ぎます。



- ⑪バルブ受け 1 個
接続口にかかる力を分散します。



- ⑫組立マニュアル 1 冊



- ⑬キャップ 1 個
配管を接続しない時に、
接続口の衛生を保ちます。

3 組み立て手順

1. 天板組立

2. 底板組立

3. 貯水タンク組立

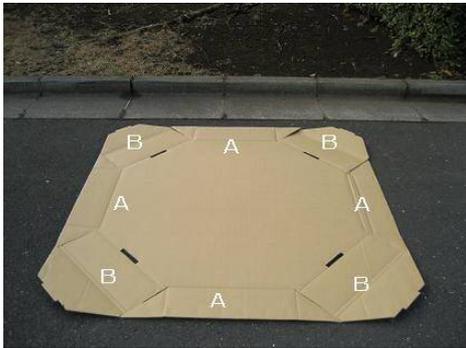
4. 内袋セット

5. バルブ・シリコンパッキン取付

6. ビニルカバー・バンド取付

7. 完成

1. 天板組立 2. 底板組立

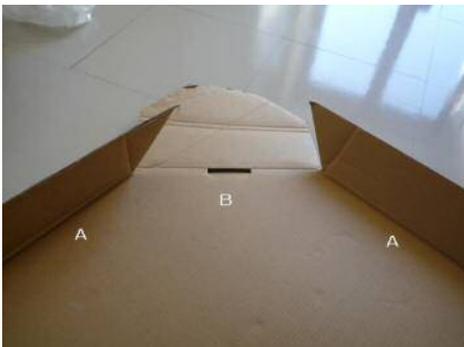


部品の状態

この写真は①天板用ダンボールです。

③底板用ダンボールとの違いは、バルブのV字型の切り込みの有無だけですので、組み立て手順は変わりません。

写真のとおり **A**、**B**とします。



Aの部分を折り曲げます。
(谷折り)



Bの部分を折り曲げます。
(谷折り)



Bをさらに折り曲げ、○で囲われた先端の突起部分を、矢印の穴に押し込みます。



以上の手順で、四方の辺を折り込みます。



全周折り上げて完成です。

以上の手順を、①天板用ダンボールと・③底板用ダンボールと、2回繰り返します。

3. 貯水タンク組立



④貯水タンク本体
部品の状態です。



上下反転し、ミミを内側に折り込みます。



強化ダンボールにつき、折り込みにチカラを要します。ダンボールの淵で怪我なさらぬよう、お気をつけ下さい。



①天板用ダンボール
③底板用ダンボール
④貯水タンク本体



④貯水タンク本体の側面の銅ホチキスは、大変固いので怪我なさらぬよう、お気をつけ下さい。

4. 内袋セット



④貯水タンク本体を、上下反転します。



反転の際、側面にある銅ホチキスは、大変固いので、怪我なさらぬようお気をつけ下さい。

③底板用ダンボールに、④貯水タンク本体をはめ込みます。



写真のとおり、③底板用ダンボールのV字の切り込み部分に、④貯水タンク本体のバルブ取付穴がくるようにはめ込んで下さい。

④貯水タンク本体の上から、⑤内袋を落とし込みます。



⑤内袋落とし込み際、⑤内袋を膨らませないで下さい。



④貯水タンク本体のバルブ取付穴から、手を突っ込み、⑤内袋のバルブ取付口を取り出します。

5. バルブ・シリコンパッキン取付



⑥バルブ に、⑦シリコンパッキン をはめます。



飲料水に触れる部分ですので、汚さない様、ご注意ください



⑤内袋のバルブ取付口と、⑥バルブの内袋取付口とを向かい合わせます。



⑧ステンレスクランプを掛けて、⑤内袋と⑥バルブを固定します。



⑦シリコンパッキンは、スキマなく取り付けられるように設計されています。ここでスキマが出来たままタンクに貯水しますと、漏水し、一旦貯水した飲料水を、すべて抜かなくてはなりません。丁寧

に取り付けて下さい。



⑧ステンレスクランプを締め上げます。



上からみたところ



①天板用ダンボールを被せます。



②プラスチックボードを載せます。



タンクは、**必ず水平な場所**に設置して下さい。

満水の状態で横ずれしますと、1tの重みで落下し、大変危険です。

6. ビニルカバー・バンド取付



⑨ビニルカバーを取り付けます。



⑨ビニルカバーをかける際、②プラスチックボードの縁等で⑨ビニルカバーに傷がつかない様、細心の注意をお願いします。

万が一傷が付きますと、そこから雨水が侵入し、貯水タンクが破断し危険です。



風で⑨ビニルカバーが飛ばない様、④貯水タンク本体の上下に 2 本、⑩バンドを取り付けます。

⑨ビニルカバーが下まで覆われるように、しっかりと取り付けて下さい。



⑩バンド



フック同士をひっかけて巻き付け
連結します。



⑥バルブ部分には、非常に大きなチカラがかかります。

同梱の⑪バルブ受けを用い、⑥バルブ部分にかかるチカラを低減して下さい。



夜間等、長時間使用しない時は、同梱の⑬キャップにて配管口が汚れないようにして下さい。

7. 完成



以上で完成です。



タンクは水はけのよい場所に設置して下さい。水たまりになるような場所に設置しないでください。雨天を考慮し**タンクの下にパレット等を敷いて下さい**。強化ダンボールの表面はある程度耐水性がありますが、ダンボールの裁断面より浸水してしまいますと強度が著しく低下します。特に満水の状態では1t(1,000kg)のチカラがかかるため、タンクが挫屈しますと大変危険です。